



「シカと森林のカード」の使い方 (学習ゲーム基本編)

1 シカカードの目的

近年、日本各地の森林では適正頭数をはるかに超えるニホンジカの増加により、芽や葉が食べ尽くされたり角で樹皮を剥がされるなど深刻な被害が発生しています。スギやヒノキなどの植林木では、苗木が食害にあい成長できなかったり、樹皮が剥がされ腐れが生じたりして木材としての価値が損なわれています。

また、シカの食害により地表植生が失われ表土があらわになった場所では、土砂崩れなど災害の危険が高くなります。シカの食害による森林の植生変化は、植物だけの問題でなく、生き物たちのエサ場や生息場所を失うなど生物多様性の危機となっています。

森林を守るため、シカの侵入を防ぐネットの設置やシカを適正な数に近づけるための“囲いワナ”や“くくりワナ”などによる捕獲が官民一体で行われています。

このカードは、シカが増えすぎると森の動植物にどのような影響が出るのか、そしてシカからどのようにして森を守ればいいのかを知ってもらうための森林環境教育の教材として作成しました。子どもから大人まで多くの方に、学校や職場など多くの場所で楽しみながらシカと森のことを学習していただければ幸いです。

2 使用方法

(1) 特色

100枚のカードで森を作ります。シカが増えすぎると絶滅する樹木や動物がでてきます。しかし、森を守る人達が防御や捕獲でシカが増えすぎるのを防ぎます。どのような森ができるか最後までわからないのがこのゲームの醍醐味です。

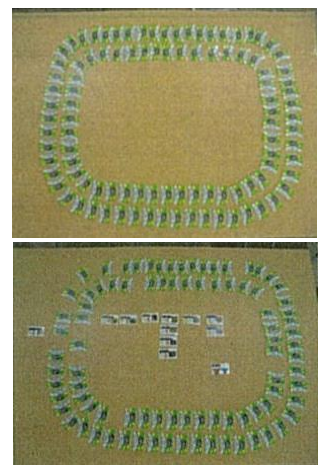
(2) カードの種類(100枚)

オスジカ7枚、メスジカ8枚、コジカ7枚、シカが食べる樹木26枚、シカが食べない樹木14枚、鳥9枚、ちょう2枚、ほ乳類2枚、森を守る人達9枚、捕獲する道具8枚、侵入を防ぐ道具3枚、シカクイズ5枚

(3) ゲームの進め方(所要時間約30分)

① 準備として、裏返したカードをテーブルの上に丸くなるように並べます(右図)。真ん中は、表にしたカードを並べるために大きく空けておきます。

② 参加者は順番に、任意にカードを1枚選んで、表にします(右図)。その時、点線で囲まれた部分を読み、それに従ってゲームを進めます。



例 1



シカが5頭になると絶滅します。

(オスジカ、メスジカ、コジカが”森”に合わせて5頭になると、「シカが食べる樹木」は絶滅し、外に出します。
「シカが食べない樹木は残します。)

例 2



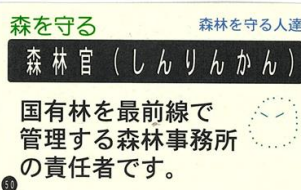
メスがいるときは、ランクの高いオス1頭が残ります。

(オスジカはなわばりを作るため、メスジカがいる場合ランクの高いオスジカ1頭が残ります。メスジカがいない場合は、戦いはおきないため、複数のオスジカが残ります。)

シカが5頭になると植物は絶滅し、シカは別の森に行きます。

(オスジカ、メスジカ、コジカが合わせて5頭になると、「シカが食べる樹木」とシカを外に出します。)

例 3



森林官、くくりわな2つがそろうと、

シカを1頭捕獲できます。

(シカを1頭選んで外に出します。シカがいない場合は権利は流れます。)

③ 裏返したカード (100枚) がなくなるまで続けます。

④ ゲーム終了後、カードの確認をします。

- i. シカによって絶滅した動植物を確認します。
- ii. 残った樹木を常緑樹と落葉樹に分け、さらに高木、小高木、低木に分けます。シカの食べ物がどのようなものか確認します。
- iii. 冬になったらどうなるのかを考えます。落葉樹は葉が落ちるのでシカの食べ物としては外します。常緑樹だけを残します。先ほどの違いを確認します。冬になるとシカの食べ物がどうなるかを考えます。

(4) クイズの答え

・ **ニホンジカのふんはどれ?** 答え: ①

(たわら型の糞がシカです。②はウサギです。)

・ **国の天然記念物になっているニホンジカはどれ?** 答え: ケラマジカ

(海を泳いで島と島を移動することで有名です。ツシマジカは県の天然記念物です。)

・ **ニホンジカの増加で山で増えている生き物は何?** 答え: ヤマビル

・ **ニホンジカの足跡はどれ?** 答え: ②

(イノシシは、後ろづめの跡が2箇所残ります。①はイノシシです。)

・ **ニホンジカ (学名Cervus nippon) は、日本固有種である?** 答え: ウソ

(朝鮮半島や中国、台湾、ベトナム、ロシア沿海州にも生息しています。)

※ 50枚でも同様に出来ます。カード左下の **50** のマークを集めて行って下さい。